

多言語コミュニティ通訳ネットワーク (mcinet)

Multilingual Community Interpreter Network

第10回事例検討会

日時：2008年8月9日(土) 14時半～17時

場所：西宮市男女共同参画センター ウェーブ

西宮市高松町4-8 プレラにしのみや4階

阪急西宮北口南口から100m TEL0798-64-9495

テーマ：「法律相談にかかわる場面の通訳」

アドバイザー：越尾邦仁氏(りべるて法律事務所、大阪弁護士会)

申し込み：mcinet2006@yahoo.co.jp

共催：多言語コミュニティ通訳ネットワーク・立命館大学人間科学研究所

事例検討会とは？

目的：通訳事例を通して、通訳者の対応や通訳者を取り巻く環境について考えていくことで、コミュニティ通訳者の質の向上を図るとともに、通訳環境の整備を目指していきます。また、多言語コミュニティ通訳の専門性が身につくシステムを構築していきます。

テーマ：通訳業務、通訳倫理、通訳条件など通訳場面に関わる全て。

第1回事例検討会 2006年10月7日(土)

テーマ：「教育場面の通訳」 アドバイザー：小島祥美 (愛知淑徳大学教員)

第2回事例検討会 2006年12月2日(土)

テーマ：「精神保健にかかわる通訳」アドバイザー：村本邦子(立命館大学大学院教授)

第3回事例検討会 2007年2月3日(土)

テーマ：「生活保護にかかわる通訳」アドバイザー：道中隆

(堺市保健福祉局理事、桃山学院大学社会学部講師)

第4回事例検討会 2007年4月14日(土)

テーマ：「労働場面ににかかわる通訳」アドバイザー：上原康夫弁護士

第5回事例検討会 2007年6月2日(土)

テーマ：「児童相談所にかかわる通訳」アドバイザー：小川直洋氏

(大阪市中央児童相談所 児童福祉司)

第6回事例検討会 2007年10月6日(土)

テーマ：「母子保健場面での通訳」アドバイザー：北村広美(多文化共生センターひょうご代表)

第7回事例検討会 2008年2月2日(土)

テーマ：「医療場面での通訳」アドバイザー：村田旬世

(Parkland Health and Hospital system ソーシャルワーカー・インターン)

第8回事例検討会 2008年4月5日(土)

テーマ 「高齢者に関わる場面での通訳」

アドバイザー：加藤博史(龍谷大学 短期大学部社会福祉科)

第9回事例検討会 2008年6月7日(土)

テーマ「DV被害者にかかわる場面の通訳」アドバイザー：友田寛子

(甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授)

mcinet コンセプト

mcinet は学校や行政窓口、相談機関などの対人援助的場面での通訳を行う通訳者のネットワークです。日本にいる外国人は、外国籍や言語文化的マイノリティというだけでなく、児童と保護者、DV 被害者、高齢者など生活人として多様な立場を持っています。外国人と専門家及び地域社会がより良いコミュニケーションを行えるように仲介を担うことにこの分野の通訳の特徴が挙げられます。この団体を構成する会員は、国際交流協会の相談員や教育サポーター、福祉事務所や職業安定所の通訳者、また、NPOやNGOの通訳者、通訳ボランティア、同様な活動をおこなっている個人などです。さらに、この分野に関わる研究者やコーディネーターの参加も歓迎します。

mcinet は、このような多種多様な通訳者及び通訳に関わる者が、お互いの立場を超えて繋がりあうことによって、情報交換を行い、その個々の立場により抱えている様々な問題を解決する糸口を見出し、多様な場面における通訳の専門性を確立することを目的とします。

活動内容：事例検討会・教育サポーター調査研究・通訳研修など

ブログ：<http://mcinet.blog57.fc2.com/> 団体の活動案内や通訳に関する情報提供を行います。

連絡先 共同代表 飯田奈美子・尾上皓美 mcinet2006@yahoo.co.jp

共同代表者プロフィール

飯田奈美子（いいた なみこ）

京都市福祉事務所 中国語通訳者。多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表
大学卒業後、中国北京大学漢語中心に留学、その後北京の日系ホテルに就職。

日本に帰国後、2002年から現職に就き、主に生活保護分野の通訳を行う。対人援助場面における通訳環境が整っていないことに問題意識を持ち、2005年秋に設立したパブリックサービス通訳翻訳（PSIT）学会事務局長としても活動する。通訳業務の傍ら、中国帰国者における支援についての研究も行い、2006年立命館大学大学院応用人間科学研究科修士課程修了。現在、立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員。

また、2007年10月から開始される京都市行政通訳・相談事業（京都市外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業）のコーディネーターも務める。

共著：『医療通訳入門』連利博監修 松柏社 第一部2章担当

尾上皓美（おのえ ひろみ）

中国語通訳、「くろーばー」事務局長。多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表
慶應義塾大学卒業後、商社勤務、中国留学を経て、2000年から（特活）多文化共生センター大阪職員として在住外国人対象の生活相談、通訳コーディネートを担当。2002年10月退職後も、ボランティアスタッフとして同センター相談業務やDV関連事業を担当。2003年5月くろーばーの前身である「外国人DV被害者支援ネットワーク・おおさか」を設立し、外国人DV被害者のための相談事業、通訳翻訳事業、通訳者養成事業等を実施。現在、くろーばー事務局長、相談員、移住労働者と連帯する全国ネットワーク「女性への暴力」プロジェクト運営委員。

フリーランスの中国語通訳者としても法律や生活支援分野を中心に活動しており、通訳者養成にも力を入れている。